

有利とされています。

また、決勝(8人)の場合、基本的には予選での成績により4コース→5コース→3コース→6コース→2コース→7コース→1コース→8コースの順に選手が割り振られます。今回は予選総合1位の選手が決勝で欠場となったことより繰り上がりとなった津川選手に4コースが割り当てられました。

お菓子工房～遊～のOPENから7ヶ月経過して

東成育成園 首藤 静奈

東成育成園内にお菓子工房～遊～の店舗を構えてから早くも7か月が経ちました。

昨年度に、スタッフのアイデアも取り入れてもらいながら店舗内の構想を考え、お菓子工房～遊～の建築が始まりました。店舗が仕上がっていく様子を見ながらクッキー班のメンバーもスタッフもワクワク♪♪数カ月の工事期間中、クッキー班は休止……。ということで久しぶりに再開した時、クッキー班のメンバーも感を取り戻すまでにはしばらく時間がかかるかなと思いきや、継続してきたことは体が覚えているのでしょうか。お店がOPENして久しぶりに稼働したお菓子作りでもみなさんの手際の良さには驚かされました。



ところが店舗が完成してからが本番!!就労継続B型の一部として稼働し始めたクッキー班ということで、

ただ製造、販売するだけではなく利益に繋がるようにと検討し直し、エル・チャレンジの講師の方たちに入っただいて、商品の見直しや店内のレイアウトを考えました。

一番初めに定番商品としていたマドレーヌの改良から技術指導を受けましたが、そこからは毎日が目の回るような忙しさでした。

お菓子工房～遊～のマドレーヌは低価格で購入しやすいと評判でしたが、少しでも利用者さんの利益に繋がるようにと味とともに値段も見直すこととなりました。改良した商品も安定したところで、次に商品の幅を広げることへ挑戦……。!!

プロの方に指導していただき、新商品の開発へと挑戦していきましたが、実際に作るのは素人の私たち…作っていく中で「あれ??」「こんなじゃなかつ

た……」と疑問を感じたり、失敗したりと苦戦する日々でした。

商品の幅が広がっていく中で新たに見えてきた課題も山積み…。その一つとして利用者さんへの提示の方法が十分ではなかったため、指示を出しているつもりでもスムーズに進まないことが多く商品を作りながら、指示をして、説明をして…となればスタッフも大混乱!!となればもちろん、利用者さんに伝わらないことが多くて当然です……。

どのようにすれば理解しやすいのか、ということである方からの意見や、他の施設へ見学に行かせてもらいヒントを得ながら視覚的に理解しやすいように片付け場所がわかりやすいように写真を貼ったり、計量時に数字が苦手な人でもわかりやすいように一覧表を作成したりと工夫を重ねることで利用者さん自身が自主的に動ける場面も増えてきました。

製造過程ではアイテムを活用することでより理解しやすくなりましたが、接客の場面では適度な距離感を保ちつつ商品を勧めたりと、言葉での説明も難しいところですが「継続は力なり」と言う言葉の通り、初めは恥ずかしさもありなかなか挨拶が出来なかった人も、いつの間にかしっかりと挨拶が出来るようになったり、お客さんが商品を選んでいる間に「好きなものを選んでね」と一声かけることが出来るようになってきています。お互いが、お互いの良いところを刺激し合っ、メンバーの同士が高め合っている姿はすごいと感じさせられる場面でもありました。

今年度からは販路も少しずつ広げ、毎週火曜日に新大阪にある大阪保健福祉専門学校へ販売にも行かせてもらっています。少しずつ私たちのことを知ってもらい、学生や講師の方たちにも足を運んでもらえるようになってきていますが、売り上げの伸び悩みなど現実の厳しさを痛感させられることも……。

先日は大阪市役所内ロビーでも販売を行い、橋下大阪市長にも～遊～のお菓子を食べてもらう機会を得ました。



お菓子工房～遊～の店舗には赤いテントを目印にご近所の方たちに足を運んでもらえるようになりつつあり、少しずつ軌道に乗り始めたのかなと感じている日々です。

多くの方から愛されるお菓子工房～遊～であり続